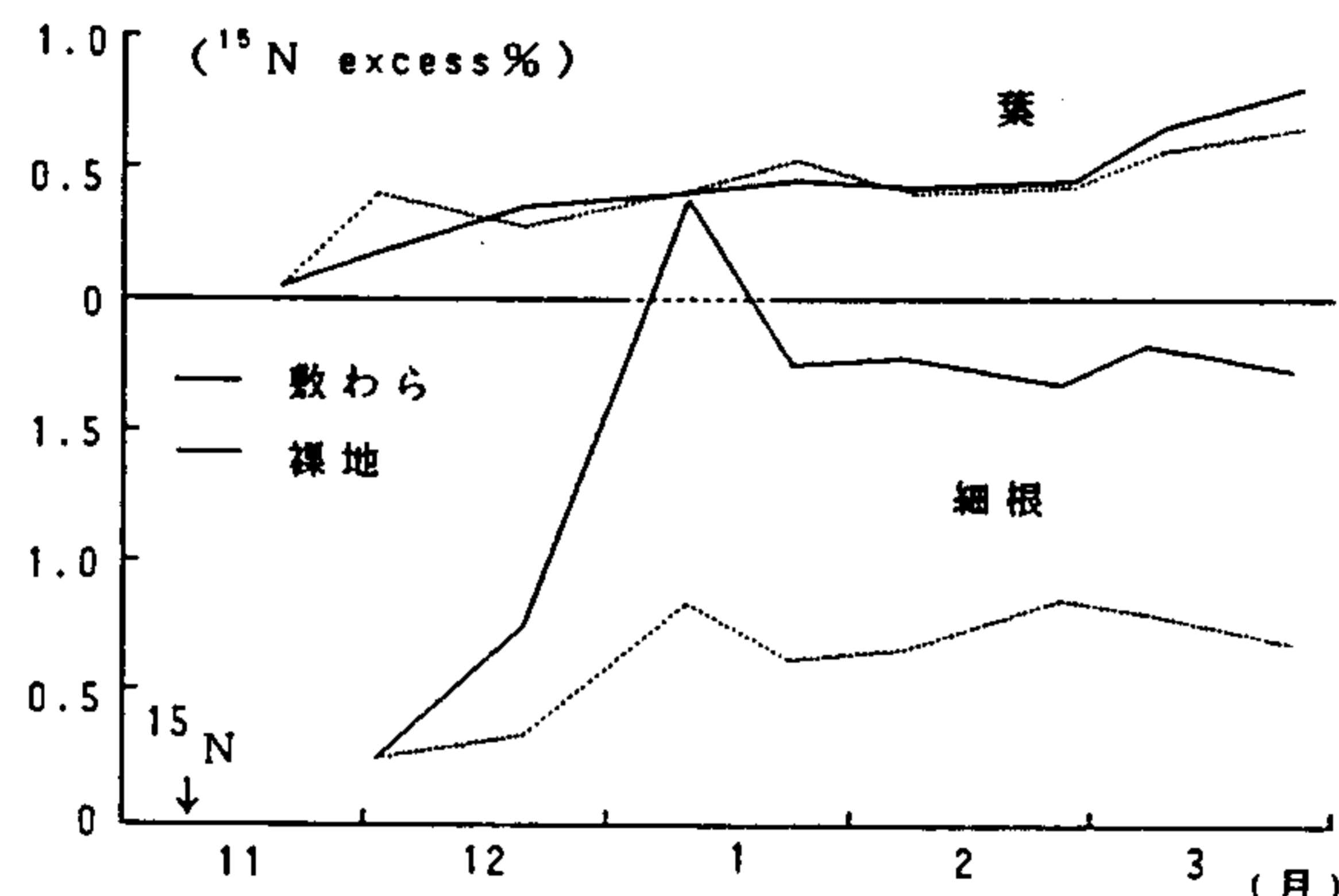


課題名	29. 低温期間における敷わら処理の窒素吸収促進効果
成果の要約	<ol style="list-style-type: none"> 敷わら区の地温（深さ20cm）は、裸地区と比べて被覆期間中約3℃程度高く推移していた。 細根中の重窒素含量は敷わら区が裸地区と比べて著しく高い値を示していた。 葉中含量については低温期間中には両者に差がみられなかったが、3月以降地温の上昇に伴って敷わら区で高くなる傾向がみられた。 葉中及び細根中の窒素含量は、時期によって異なるものの概ね敷わら区が裸地区より高く推移していた。 以上の結果から、低温期間中樹冠下に敷わらをすることによって、地温低下を抑制して施肥窒素の吸収を大幅に促進できると考えられた。
成績概要	 <p style="text-align: center;">葉及び細根中の重窒素濃度の推移</p> <p>注) 150g、7.1 atom% 重窒素硫酸を11月9日に施用 9年生「林系温州」を供試</p> <p style="text-align: right;">(果樹試験場)</p>
普及上の留意点	